

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	コミュニケーション I		(TCM205)
講義名 (コード)	TCM_コミュニケーション I_A		(TCM205A)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	2
授業担当者	酒井 京子	時間数	30
成績評価教員	酒井 京子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が自分とは異なる様々な主張を理解するために、様々な形式の文章から統合的に必要な情報を読み取れるようになる。
全体の内容と概要	医療を中心に様々な事柄の文章を読み、ディベートや発表などの活動を通してその事柄だけでなく他者の主張も深く理解していく。高度な日本語表現を習得する。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	より多角的な視点で問題を捉え、客観的かつ論理的に自分の意見を発表することができる。	テーマ④ 分析 JTEST105回
2		テーマ④ 個人ワーク JTEST106回
3		テーマ④ 発表1 JTEST107回
4		テーマ④ 発表2 JTEST108回
5	グループのスケジュール管理や統一目標の維持、方向性の調整などを意識し、グループワークが円滑に行える方法を見出す。	テーマ⑤ 分析 JTEST109回
6		テーマ⑤ グループワーク JTEST110回
7		テーマ⑤ 発表1 JTEST111回
8		テーマ⑤ 発表2 JTEST112回
9	より豊かな表現力で発表することができる。	テーマ⑥ 分析 JTEST113回
10		テーマ⑥ グループワーク JTEST114回
11		テーマ⑥ 発表1 JTEST115回
12		テーマ⑥ 発表2 JTEST116回
13		後期のまとめ
14	後期定期試験	
15	後期定期試験 解説	

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	JTEST過去問題
備考	